

主催
京都大学大学院経済学研究科

共催
京都大学地球環境学堂

ワークショップ

日独におけるエネルギーシフト

- 再生可能エネルギー・電力自由化・地域再生 -

日時：2013年5月24日（金）午前9時半～

会場：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール I

使用言語：英語

プログラム（暫定）

-主催者挨拶 植田和弘 京都大学大学院経済学研究科長

-オープニングスピーチ テレジア・パウアー バーデン・ヴェルテンベルク州科学・研究および芸術大臣

-ワークショップ

- (1) 植田和弘 京都大学大学院経済学研究科教授「再生可能エネルギー固定価格買取制度の中間報告」
- (2) アルミン・グルンヴァルト カールスルーエ工科大学教授「エネルギーシフトと市民社会の役割」
- (3) 手塚哲央 京都大学大学院エネルギー科学研究科教授「再生可能エネルギー利用促進に向けた電力システムの再設計」

休憩

- (4) ドイツ側発表者（未定）「電力市場の自由化」
- (5) 長山浩章 京都大学国際交流推進機構国際交流センター教授「日本の電力産業：福島原発事故後の改革への提言」
- (6) ドイツ側発表者（未定）「エネルギーシフトの最善事例 シェーナウ電力の事例など」
- (7) 諸富 徹 京都大学大学院経済学研究科教授「再生可能エネルギーの促進と、地方自治体のイニシアティブの役割-長野県飯田市の例」

-フロアからの質疑応答

●参加希望者は諸富 (morotomi@econ.kyoto-u.ac.jp) までご連絡ください。

会場へのアクセス

